

英会話 I (English Conversation I)		1年・通年・1単位・必修 5学科共通 担当 後藤 朗子	
〔準学士課程 (本科1～5年) 学習教育目標 (3)〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習教育目標〕	〔JABEE 基準〕	
〔講義の目標〕 英語を聴き、声に出すことに慣れ親しむ。基本的な日常会話表現を身につける。			
〔講義の概要〕 相手の話す英語を、興味を持って聴く姿勢と、自分の英語で意思を伝える積極性を養う。英語の音を聴き、真似て声に出すことを繰り返し行なうことで、英語らしい読み方に近づける。シャドーイング、ペアでの会話練習、グループでのプレゼンテーションなど、協力・工夫して楽しみながら取り組むことで、英会話への抵抗感を減らす。会話練習や寸劇では、セリフの棒読みではなく、想像力を働かせてなりきって声に出すことで、その表現を自分のものにすることができる。 リスニングでは、短文の書き取りの他に、様々な場面や短い物語を聴き、内容に関する質問に答えることで、集中して聴き、即答する訓練をする。			
〔履修上の留意点〕 聴きとる力を伸ばすためには、忍耐強く繰り返し英語に耳を傾けなければならない。 様々な場面の会話表現の口慣らし練習を行うので、恥ずかしがらず真似ることが期待される。 プレゼンテーションでは、自由な発想で積極的に取り組んでほしい。			
〔到達目標〕 日常的な会話において、相手の質問、話や意見を聴いて、即時に何らかの反応を英語で返すことができる。 短い英文を聴いて、話されている場面の設定・状況を大まかに把握することができる。 会話表現を単に覚えているのではなく、実感をもってその表現を使い、自分のものとして応用できる。			
〔評価方法〕 授業での取り組み・発表 50% 課題 20% 筆記テスト(リスニングを含む) 30%			
〔教科書〕 プリントを作成して配布する。 〔補助教材〕 多数の会話教材、リスニング CD を使用			
〔関連科目〕 日頃親しんでいる映画や洋楽を聞き流すだけでなく、どのような英語が使われているのか調べてみる。英語を、意思表示・意思疎通の手段として、実際に使うことばであることを忘れずに学ぶことが肝要である。			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第1週	ガイダンス	「英会話」の学習について	
第2週	英語のリズム・抑揚・発音	真似て声に出す練習	
第3週		音・単語・短文の Shadowing	
第4週		早口言葉	
第5週	Listening & Role Play	Shadowing /Dictation 様々な場面での会話・即答練習	
第6週			
第7週			
第8週			
第9週	前期中間試験		
第10週	イラスト英会話・寸劇	一連のイラストを用いた自由英会話練習 一連のイラストを基にストーリー作成した寸劇 (グループ発表)	
第11週			
第12週			
第13週			
第14週	Review	音読の復習、早口言葉、即答練習、Listening	
第15週	前期末試験		
第16週	Listening & Role Play	Shadowing /Dictation ・様々な場面での会話・即答練習	
第17週			
第18週	Show & Tell	自由テーマで聴き手にアピールする 発表者に対して質問する (グループ発表)	
第19週			
第20週			
第21週	Listening & Role Play	Shadowing /Dictation ・様々な場面での会話・即答練習	
第22週			
第23週	後期中間試験		
第24週	Listening & Role Play	Shadowing /Dictation ・様々な場面での会話・即答練習	
第25週			
第26週	Debate1~3	掲げられたテーマで、会話・意見交換を続ける 質疑応答	
第27週			
第28週			
第29週	Review	音読の総復習、即答練習、Listening	
第30週	学年末試験		

* 4 : 完全に理解した、3 : ほぼ理解した、2 : やや理解できた、1 : ほとんど理解できなかった、0 : 全く理解できなかった、

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)